事例研究レポートの作成について

指導実習では、実際の事例を通して、児童・生徒の学習面を中心に、対象事例の情報収集、アセスメント、個別指導計画の作成まで行います。

１．事例研究レポート（1 例）の作成について

事例研究レポートは、学習に課題のある児童・生徒 1 名について観察し、以下の様式を使用して作成してください。（A4 用紙 2 枚まで、できるだけパソコンで作成）

やむをえず事例を準備できない方は、テキスト I 巻「アセスメントの総合的解釈」P180 の事例 B を使い、事例研究レポートを作成してください。

２．事例研究レポートの記入上の注意

①受講登録番号・氏名の欄：ご自身の受講登録番号・氏名を忘れずに記入してください。

②対象児の記載：対象児は、個人が特定できないように記載してください。イニシャルは使わないようにしましょう。

例）A 児

③診断または判断：医師による診断名がある場合、公的機関での認定がある場合には、それを記入してください。

例）A 医療センターで ADHD という診断を受けた。

診断名がない場合には、あなたの判断または学校での判断を書いてください。

例）LD（読み書きの LD）の疑い

④学習上の課題：対象児を観察または諸検査を実施し、学習上の課題を 5 点まで書いてください。

例）拗音や促音での読み誤りが多く、国語の本がスラスラ読めない。

例）スラスラ読めないため、国語は初読では内容理解ができない。

⑤行動・社会性の課題：対象児のかかえる行動と社会性の課題を 5 点まで書いてください。課題がない場合には「特になし」と書いてください。

例）一斉指示では、聞き逃しが多い。

例）自己主張が強く、友達とのトラブルになりやすい。

⑥心理検査等の結果からわかること：心理検査を実施している場合には、その検査名と結果を記入し、検査結果からわかったことを記入します。心理検査のみならず、読み書き検査、チェックリストなどの結果も記入します。

⑦通常クラスまたは支援学級における配慮事項（合わせて 5 点程度）：学習上の課題、行動・社会性の課題に合わせ、通常クラス及び支援学級における配慮事項を書きましょう。ここでは、対象児の抱える課題に対応する配慮であることが大切です。

事例研究レポート用紙

年　　月　　日提出

参加希望指導実習：　第　　回（ 関東 ・ 関西 ）地区　＊いずれかを○で囲む	
受講登録番号　　－	氏　名
職　種　（ 教育 ・ 心理 ・ 医療 ・福祉 ・ その他：　　）	
事例研究対象児　（ 自分の事例 ・ テキスト事例 ）　＊いずれかを○で囲む	
年齢及び学年　　歳（ 幼 ・ 保 ・ 小 ・ 中 ・ 高　　学年 ）　男 ・ 女	
診断または判断　＊診断がついている場合は記入。なければあなたの判断を書いてください。	
学習上の課題（５点以内）	
行動・社会性の課題（５点以内、ない場合は「なし」とお書きください）	
心理検査等の結果からわかること（結果がなければ省略）	
通常クラスまたは支援学級における配慮事項（合わせて５点以内） ＊先に挙げた学習及び行動・社会性の課題に対応する配慮事項を考えて記入して下さい。 ・学習面 ・行動・社会性面	